

## 目次

- 2019男女共同参画セミナー『そろそろ男性が変わらなきゃ……』…………… 1
- 2019国際女性デーひろしま…………… 3
- 広島市議会を傍聴しました!…………… 3
- 広島市女性団体連絡会議(ひろしまWENET)からのお知らせ…………… 4



## 2019男女共同参画セミナー(2019年2月16日)

# 『そろそろ男性が変わらなきゃ ジェンダーの視点から見直す世の中』

### 第1部

講演 「私たちにとって性別(ジェンダー)とは何か。  
男性学研究からみるオヤジと草食系男子」

講師 北仲千里さん(広島大学ハラスメント相談室准教授)

広島市まちづくり市民交流プラザで、ひろしまWENET男女共同参画セミナーを開催しました。100人の参加者で、会場はいっぱいになりました。

第1部は、広島大学ハラスメント相談室准教授の北仲千里さんに「私たちにとって性別(ジェンダー)とは何か。男性学研究からみるオヤジと草食系男子」をテーマに、講演していただきました。

はじめに、ジェンダーは「社会・時代によって多様であり、変化していく。」と写真を示しながら具体的に説明されました。

次に、男性の方が「ジェンダーのしほり」が強いということで、学会でも注目されている「男性性」について説明されました。

ある大学で、女子学生に「自分が、男らしいかどうか。」と聞いたときに、男らしいと男らしくないは半々。一方、男性に「自分が、男らしいか、男らしくないか。」と聞いたら、大半の男性は、普通に男らしいと答える。

男らしいという範囲は広く、話をまとめてリーダーシップをとる、優等生、サラリーマン、不良、ロックンローラーなど、「男性性」の男らしいというのはいっぱいある。女と一緒に見られるのは恥。男は女を好きになるはず、同性愛者を差別するなど、「男らしくない」と言えない性であり、女性よりも社会規範が強い。男性はもう一つの性を下にみて「男になる。」や、選挙でも「男にしてやってください。」などと、女性より上だということで成立する。

男らしさが犯罪の発生源になっているのではないかと。DV夫、セクハラ上司、犯罪者、ホームレスも男性問題。男性は自分で生きていかなくてはならない。SOSを発しない。自殺も男性問題。犯罪の検挙件数も男性が圧倒的に多く、殺人などの凶悪犯罪も男性が多い。

女性の「恋バナ」から見てきた嫌な男性像は、

- ・男たちは上下関係に弱い。
- ・男性同士の同質性を求められ、男性たちは「男の世界」をいつも気にしている。



・なんでも恋愛と捉え、女性を性的対象として見る。男であることが仕事仲間であり、女性は職場の花、恋愛対象として考えていい。セクハラの土壌となる。

・男性たちの友情は張り合っている。負けを認められず、何でも勝ち負けで考えている。

次に、男性がなぜ、性暴力やDVの加害者になってしまうのか、その構造について説明されました。

女性は女性であるために、DVや痴漢などの性暴力、ストーカー等の被害に遭ってしまう。男性は性欲があって性的に活発に行動するものとされ、女性には性的に行動することを認めないダブルスタンダードがある。女性が性被害にあっても、スキがあったからだと言われ、加害者である男性は性欲が抑えられなかったと弁護されるといったように、社会が、男性を性の加害者として行動させるように仕向けている。

一方、これまで男としてのプライドの重要な核としてのセクシュアリティを「それほど大事なことでない。」と考え、「セックスなんて特別なものではない。」、「ワリカンが当たり前」などの草食系男子が出現している。

最後に性別にかかわらず、安心・信頼して働いたり、学んだりできる社会にすること、もっとしなやかで人間をお互い対等にみることが出来る男性を育て、人間としてプライドが持てる社会にしたいと講演を結ばれました。

## 第2部

対談 城 英介さん × 北仲千里さん

テーマ：「性暴力やDVをしない男性を育てる」

城 英介さん（“人間と性”教育研究協議会広島サークル代表幹事・中国ブロック幹事、小学校非常勤講師）



続いて、「性暴力やDVをしない男性を育てる」をテーマに、現在、小学校非常勤講師で、性教育に取り組む団体の代表をされている城さんと、北仲さんとのトークをしていただきました。一部を紹介します。

（城さん）小学校の教師で性教育に取り組んできた。私も男性ジェンダーにどっぷり浸かってきた中で、連れ合いとの出会いがあり、彼女の活動を手伝うなかで性教育に目覚めた。学習していくうちに、女性が開放されるということは、男も楽になることだと気づいた。やっと自分の問題だと思えるようになった。

小学校の男の子を見ていると、小学校時代から男らしさを意識している。「このままだと将来過労死するぞ」「鎧を緩めてやらなくちゃ」と思い、性教育を始めた。

アサーションの講座に参加し、自分の感情を表現することが大切だなと感じることができた。小学校でもアサーションの授業を行い、特に怒りの感情について、怒りの感情の前に寂しさとか不安の感情がある。「その感情をあらわそうや。」と。「男だったらここで怒らな。」とか、「怒らないと男じゃない。」というジェンダー意識がある。そこで、アンガーマネジメントについて学んだ。

（北仲さん）「DV加害者をどうしましょう。」とよく聞かれる。男性加害者に「あなた、それはまずいよ。」と言う人がいない。日本で言えるのは警察しかない。他の国では法律で禁止することで対応している。義務教育の中で何をやっていくかが大事になってくる。DVのことなど、みんなで考えるということが大事ではないか。

（城さん）DVの加害者男性の話を読んだり、聞いたりしているけど、「自分は違う」とは言えない。自分の場合は、連れ合いがそばにいたから気づくことができた。

最後に会場から質問や意見をいただきました。そのなかで、思春期の男子を持つ女性の方から、「暴力をふるうような男にしたくない。どのように向き合ったらいいか。」と質問がありました。

その質問に対して会場から「男だけど内心は弱い。女性から責められると、弱いから暴力に訴える。男の子は、小さいときから感情を出せないと危ない。競争社会で負けて帰ってきてても許してあげて欲しい。男も救われたい、『男も大変ね』と女性からもみてもらいたい。力づくで押さえつける関係ではなく、柔らかな関係ができるといい。お互い弱いところも認めて欲しい。」と意見が出されました。

参加者アンケートでは、講演は7割、トークは5割の人が「大変満足」又は「満足」と回答されています。年代別では、20～40代は講演、トークとも「大変満足」と「満足」を合わせると100%。50代以上の評価が低く、講演は58%～77%、トークで

は50～60%でした。参加者の2/3を60代以上が占め、年代によって評価が分かれる結果となりました。子育て世代や、学生、仕事をされている現役世代の方に多く参加していただきたいと思いました。（啓発部会 中嶋）



## 2019国際女性デーひろしま(2019年3月10日) 映画「不思議なクニの憲法」上映



「2019国際女性デーひろしま」が広島市まちづくり市民交流プラザで開催され、1部・2部合わせて201人の参加がありました。今年の女性デーは「憲法」について考える集会になりました。

日本国憲法を手にして70年。その間、私たちは当たり前のように平和を享受してきました。監督：松井久子さんが、この映画の制作にかけた思いや願いを紹介します。

「憲法に書かれていることは自分のことなのだ」と訴える映画にしたかった。憲法問題を私たち一人ひとりが自分で判断できるようにならなければいけない。映画を見て考え、そしてこの国の未来について語り合ってほしい。憲法を決めるのは私たち国民です。私たちの権利です。日本国憲法は、ほとんどの条文の主語が「国民」です。国民主権を保障し、個人の基本的な人権を尊重し、権力から国民を守るためにある。『戦争放棄』を謳う日本の現憲法は、「悲惨な戦争から生まれた美しい真珠」。そのことに、今あらためて一人でも多くの方が気付いてくださることを願って、この映画を作りました。

### 私たちの不断の努力がとわれている。

映画は声をあげる若者から始まりました。金髪に付け睫毛のギャルと呼ばれる若い女性。「私はこのデモの発起で、沢山の人に顔を知られました。沢山の人に心ない言葉を言われました。それでも私は声をあげ続けます。ギャルって言われる人は政治のことを考えちゃいけないんですか?…」彼女のスピーチを聞きながら涙が出て来ました。この映画では色々な世代や立場の人たち、憲法学者、弁護士、作家、ジャーナリスト、国会議員、元外交官等から憲法の内容はもちろんのこと、憲法にまつわる歴史、沖縄の基地のこと、アメリカとの関係などを話されました。憲法は権力の暴走を止めるもの。暴走を止めるのは私たち。私たちの不断の努力が問われていると痛感しました。（山本紀子）



憲法ツリーに思いを書き込む参加者



## 広島市議会を傍聴しました！



予算特別委員会の様子

2019年3月5日、広島市議会予算特別委員会（総務関係）を約2時間傍聴しました。

発言者は、山本昌宏（西区）、碓井法明（東区）、豊島岩白（西区）、石橋竜史（安佐南区）、米津欣子（佐伯区）の5人の議員でした。総務関係だったこともあり、その内容は多岐にわたり、出席の行政担当者の数も50人を超えていたように見えました。

発言項目は、次のとおりでした。

- 多目的スポーツ広場の建設について
- 災害教訓の継承について

●文化芸術に関する計画について ●市内の博物館について ●世界に誇れる音楽ホールの建設について ●天下りや談合の撲滅について ●SDGsの促進について ●地域コミュニティの活性化のための環境整備について ●流川、薬研堀地区における客引き行為について ●サッカースタジアムについて ●中山間地域の活性化について

傍聴後の感想は、2018年の7月豪雨の影響が、市政に大きく影響していることを実感しました。議員が話している内容が、何のことかわからないところもあり、勉強不足を自覚すると同時に、政治家も聞いている人がわかるように話してほしい。また、地域で団体活動をするうえで、会場の確保は避けて通れませんが、近くの公民館、集会所などが、もっと便利に使えるような環境整備をしてほしいと思いました。

それぞれの意見に対して行政からのコメントを聞き、行政の立つ位置を意識しました。また議員を選ぶとき、候補者の人柄や得意分野、行動力は重要な判断基準です。納得のいく1票を投じたいと思います。

(学習部会 福田英子)



答弁に立つ松井市長

## 広島市女性団体連絡会議(ひろしまWENET)からのお知らせ

### 男女共同参画社会の実現に向けて、わたしたちと一緒に活動してみませんか!

当会では、男女共同参画社会の実現に寄与するため、啓発活動、学習・調査研究活動、各種事業への協力などを行っています。私たちと一緒に活動していただける団体会員・個人会員を随時募集しています。

#### お知らせ

##### ピンクリボンdeカーブ

日時:5月12日(日) 13:30~

会場:マツダスタジアム(対:DeNA)

主催:広島東洋カープ

当日のピンクリボンの活動にもご参加下さい。

##### 広島市女性団体連絡会議・2019年度総会

日時:6月1日(土) 10:00~12:00

場所:広島市男女共同参画推進センター  
(ゆいぽーと)

##### ヒロシマ平和の灯のつどい

たくさんの方々のご参加をお待ちしています。

日時:7月31日(水) 17:30~

場所:平和記念公園等

#### まめ知識

男女差を表す世界経済フォーラムの

##### 「2018年ジェンダーギャップ指数」

日本は149か国中110位。G7で最下位です。  
政治や経済の分野で女性の進出の遅れが原因です。

経済分野 0.595(117位) ← 0.580

教育分野 0.994(65位) ← 0.991

健康分野 0.979(41位) ← 0.980

政治分野 0.081(125位) ← 0.078

\*1に近いほど平等の度合いがより高いことを示します

##### 日本の女性の政治への参画状況(2016年)

国会議員 9.3%

都道府県議会議員 9.8%

市区議会議員 14.5%

広島県議会議員 6.3%

広島市議会議員 14.8%

WENETニュース第47号 2019年3月

発行者:広島市女性団体連絡会議(広島市市民局人権啓発部男女共同参画課気付) 責任者:山本 紀子